

鎌倉の世界遺産候補地を訪ねました

「鎌倉の世界遺産登録をめざして」をメインテーマに掲げる第50回鎌倉まつりの一環として、(社)鎌倉市観光協会主催で推進協議会共催による世界遺産候補地をめぐる寺社特別拝観めぐりが、推進協議会広報部会長の内海恒雄さんの案内により行われました。

世界遺産候補地の寺社には、通常公開されていない史跡や文化財等を含めた特別拝観をお願いし、そのご指導とご理解をいただくとともに、寺社本来の在り方に配慮した特別拝観の心得を守り、単なる観光や物見遊山ではなく、関係者にとってより望ましい拝観を実施しようというものでした。

4月14日 寿福寺では仏殿の釈迦三尊・達磨大師・臨済禅師・栄西像などの特別拝観、伝源実朝・北条政子墓などの拝観、浄光明寺では公開日でない阿弥陀堂などの阿弥陀三尊・矢拾地蔵像、綱引地蔵像、冷泉為相墓の拝観と覚賢和尚の墓等を特別拝観する予定でしたが、あいにくの天候で中止しました。

4月15日 覚園寺ではご住職のご挨拶と甘茶をいただき感激しました。副住職のご案内で、愛染堂の



覚園寺山門

愛染明王・不動明王像、薬師堂の薬師三尊・十二神将像、内海家住宅、黒地蔵像などを拝観しました。瑞泉寺では客殿から本堂に入らせていただき、釈迦如来・千手観音・夢窓国師像などを特別拝観し、どこも(苦)地蔵像や庭園を拝観しました。

永福寺跡では整備中の三堂跡の様子を裏山に上り見学しました。

4月16日 建長寺では総門をへて山門に上がらせていただき釈迦如来像や羅漢像を、また普段公開されていない西來庵に入らせていただき昭堂を、仏殿



建長寺 西來庵

の中に入れていただき地蔵菩薩・伽藍神像を、法堂に入らせていただき千手観音像を、回春院に入らせていただき文殊菩薩像を、禅居院に入らせていただき聖観音・摩利支天像などをご関係のご住職等のご案内で特別拝観しました。

4月17日 高德院では仁王門をへて、国宝の大仏や礎石、朝鮮の王宮から移築した観月堂を拝観し、



高德院庭園

邸内に入らせていただき庭園や茶室を特別拝観しました。大仏切通や北条氏常盤亭跡では主に入り口付近で見学し、史跡の大体の様子が理解できました。

4月18日 極楽寺では本堂に入らせていただき、



極楽寺駅

不動明王・文殊菩薩像を、公開日でない転法輪殿では釈迦如来・十大弟子像等を特別拝観しました。天候の具合で一升枡遺跡は中止し、西方寺跡の上杉憲方の墓等を拝観しました。